

宮崎ハジマリ・ミステリー・ツアー

市内の随所に残る、神話や古代にまつわるミステリー。この秋、あなたも歴史のハジマリをひもといてみませんか。

宮崎神宮とは？

御祭神は神武天皇とその両親(ウガヤフキアエズノミコト、タマヨリヒメ)。孫・タケイワタツノミコトが、祖父を讃えるため鎮祭したのが始まりとされます。社殿は明治神宮などを手がけた伊東忠太氏が設計(国登録文化財)。樹齢100年以上の狭野杉が使用されています。

日本の成り立ちに縁深い神武天皇が宮崎生まれということに誇りを持っていただければうれいですね。

宮崎神宮 宮司 杉田 秀清さん



神武天皇に縁のある3つのスポット

皇宮神社
神武天皇が東遷に出発するまでの皇居の跡地と言われています。(下北方町)

宮崎の宮
平澤定人氏によって描かれた神武天皇の東遷前の軍議の様子です。(社務所)

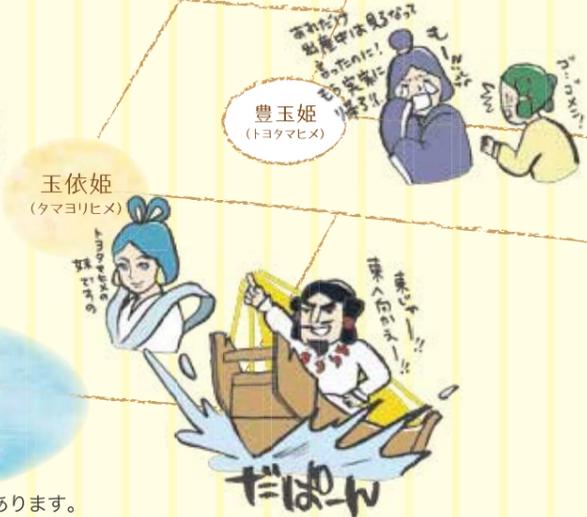
奈良県橿原市
橿原市は、神武天皇が即位した地。それが縁で、宮崎市とは姉妹都市です。

数々の苦難の末に即位した神武天皇

聡明で武術にも秀でていた神武天皇は、宮崎県高原町に生まれ、今の宮崎市の下北方町付近に居を構えたとされます。45歳の時、全国を治めようと決意し、日向の美々津から船出され東方へ。賊の襲来や暴風で兄を亡くすなど苦難が続きますが、初代天皇に即位し、めでたく日本を建国したといわれています。



神話の伝承地は、神秘的な雰囲気があります。縁のある神話を覚えて行くことにより楽しめますよ。
神話・観光ガイドボランティア 児玉 建さん



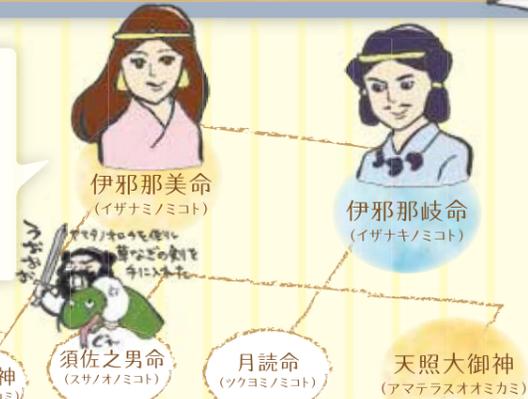
※神々のイラストやコメントはイメージです。
※系図やその他の名称、神話の内容などについては諸説があります。



古事記が伝える天地創造の舞台

国生み・神生み

天の神の命により、日本の島々や多くの神を生んだイザナキとイザナミ。阿波岐原にある「みそぎ池(御池)」は、イザナキがみそぎを行い、アマテラスをはじめとする尊い神々が生まれた場所の一つとされています。



伊邪那美命 (イザナミノミコト)

伊邪那岐命 (イザナキノミコト)

須佐之男命 (スサノオノミコト)

月読命 (ツクヨミノミコト)

天照大御神 (アマテラスオオミカミ)

地上に光が取り戻される天岩戸(あまのいわと)開き

母を亡くして悪行を繰り返すスサノオに心を痛め、天岩戸に閉じこもった太陽の神・アマテラス。八百万(やおよそ)の神々は相談の末、宴を催して連れ戻します。高千穂町岩戸が舞台といわれています。



ニニギが一目惚れした美女 木花佐久夜姫

ニニギと一夜の契りで子を授かるも、ニニギに自分の子かと疑われた姫。「天の子なら無事に生まれるでしょう」と産屋(今の木花神社境内にあります)に火を放ち、無事に出産します。

石長姫 (イワナガヒメ)

木花佐久夜姫 (コノハナサクヤヒメ)

迹迹芸命 (ニニギノミコト)

火遠理命 (ホヲリノミコト)

火照命 (ホテリノミコト)

火須勢理命 (ホスセリノミコト)

釣り針を巡る兄弟げんか 海幸山幸

兄・ホテリ(海幸)と道具を交換し、釣りに出かけた弟・ホヲリ(山幸)。しかし針を紛失し、兄を怒らせたホヲリはトヨタマヒメに会い…。青島や鵜戸神宮に縁のある話です。



アマテラスの孫が地上に 天孫降臨

アマテラスは孫・ニニギに、地上の世界(葦原中国)を治めるよう命令。ニニギは高千穂の霊峰に降り立ちました。その降臨の地とされる場所が、高千穂町と霧島にあります。

神武天皇と宮崎神宮

【問い合わせ】観光課 ☎21・1791

10/26(日)・11/1(土)~2(日)

宮崎神宮大祭

- ◎10/26(日) 10:00 例祭(宮崎神宮)
- ◎11/1(土) 13:00~16:00
御神幸行列など(宮崎神宮~大淀御旅所)
17:45~21:00 神武さま広場(高千穂通り)
- ◎11/2(日) 13:00~16:00
御神幸行列など(大淀御旅所~宮崎神宮)

③ 神武さま広場
今年は、神々の集いステージや神話ゆかりの地のPRブース、市内に伝わる神楽の舞なども披露されます。また、飲食ができるスペースも設置します。

② ミスシヤンシヤン馬
新婚夫婦が鵜戸神宮参拝の帰り、疲れた花嫁を馬に乗せて手綱を取って家路に着くさまを再現したものです。

① 神々のパレード
全国に公募して選ばれた参加者が13神に扮して街を練り歩きます。今年は新たに大山津見神(オオヤマツミノカミ)が登場します。

宮崎神宮大祭の見どころ



宮崎神宮大祭 祭実行委員長 前畑 智之さん

吹奏楽部も盛り上げる宮崎屈指のイベント
130年以上も続く「宮崎神宮御神幸祭」は、遠方に住んでいて親しくお参りすることができない人が「年に一度は心ゆくまで拝みたい」と願ったことから始まりました。今でも、「御鳳雛(ごほうれん)」に、手を合わせて拝まれる人は少なくありません。
宮崎神宮大祭は、今では宮崎を代表する祭りに発展しました。天照大御神(アマテラスオオミカミ)の像やおきよ丸が街を練り歩く姿は圧巻です。また、今年は中学・高校8校、6チームの吹奏楽部が神賑行列を盛り上げます。